

南越前町森林整備計画書（案）へのご意見に対する回答書

<p>Q1. 林業に従事する者の養成および確保に関する事項について</p>	<p>A1. ご意見ありがとうございます。 町の林政については、福井県が推進する自伐林業、自伐型林業の取組は今後も継続して支援するとともに、コミュニティ林業（集落型林業）組織の育成を推進してまいります。</p>
<p>Q2. 立木の伐採（主伐）の標準的な方法 過去におこなわれた間伐で林床に残置されたままとなっている“切り捨て間伐材“について</p>	<p>A2. ご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、戦後の植林から保育を実施してきた中で間伐材は利用価値などから切捨てにより森林内に存置されてきた経緯がございます。町内では標準伐期齢を迎えた森林が多くなってきていることから、今後は木材の有効利用ため市場出荷等を促進しながら、伐採跡地の適正な更新などを推進してまいります。</p>
<p>Q3. 住民参加による森林の整備に関する事項 町内で山林に関わっている人が先生となって特別講座をおこなう、または現場で課外授業をおこなうなど、小中学校の生活科や環境教育のカリキュラムに組み込んではどうでしょう。</p>	<p>A3. 積極的な意見ありがとうございます。 町内各学校において、緑の少年団を組織いただいて森林林業の活動等は継続して実施しております。また、昨年には丹南農林総合事務所と協力して、子ども林業体験会を開催して多くの児童・生徒に参加いただいたところです。この様な取り組みは、学校側の教育スケジュールと調整しながら今後とも取り組みたいと考えております。</p>
<p>Q4. 上下流連携による取り組みに関する事項 分収造林契約を利用した水源の森林造成とありますが、具体的にはどういったことが</p>	<p>A4. ご意見ありがとうございます。 分収造林契約を利用した森林整備についてですが、現在は森林整備を行う個人が非常</p>

<p>想定されているでしょうか。</p>	<p>に少ないことから町や森林組合等が施業の団地化を進め森林整備をすることで、健全な森づくり推進することを働きかけることも重要と考えています。</p>
<p>Q5. 「森づくりに直接参加することができる地区として各種団体に対する斡旋活動に積極的に取り組む」という点については、町が実施した調査で土地所有者が明確化された山林を町から紹介し、地権者と協定書とを結ぶ仲介を町がおこない、施業に用いる道具や重機の手配を手助けする-といったサポートが現実的に必要になってくるかと思えます。</p>	<p>A5. ご意見ありがとうございます。 森づくりに直接参加する各種団体として、町では「企業の森づくり」に取り組んでおり、県内各企業様の社員等が森づくりに参し、森林林業に触れていただく機会を設けています。今後もこのような取り組みは積極的に取り組みたいと考えています。</p>
<p>Q6. 漁業分野の事業者や団体と連携し、彼らも森林整備に関わるような体制に持っていくことで、町の財産である森林・河川・海といったリソースの価値を全体的に高め、守ることになると思います。</p>	<p>A6. ご意見ありがとうございます。 以前より山の恵みが河川を通じて沿岸漁業に繋がることは発信しております。現在、各それぞれの多面的機能を発揮するための取組も行われていたり、新たに取組む機運も上がっておりますので、今後とも各種団体の活動に支援することが重要と考えております。</p>
<p>Q7. 施行種として「通常皆伐」と記載されており、これだと町内山林での施業は皆伐一択と言っているように読めます。シカなどによる食害が非常に多く、かつ林業従事者が少ない当町においては、皆伐後に再植林を成功させることが容易ではないと思われ、択伐・間伐を積極的に組み合わせた方が持続可能な林業、および里の住民の安全確保につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>A7. 貴重なご意見ありがとうございます。現状、町の森林では獣害がひどいことから、皆伐を行うと多様性のある森林を維持できなくなるため、間伐を中心とした森林整備を行っております。将来的には、獣害への対策等が進むことを期待したうえで、標準伐期齢に達している立木の主伐を推進していきたいと考えています。</p>
<p>Q8. 鹿蒜川が氾濫し大量の土砂が谷を襲いまし</p>	<p>A8. ご意見ありがとうございます。</p>

<p>たが、その土砂の発生源である鹿蒜川上流の山林も、災害防止機能を高める必要があることから、災害防止機能林としての整備対象としてはどうでしょうか。</p>	<p>ゾーニング図については、保安林指定を表示しているものではなく機能を期待する区域として表示しております。鹿蒜川流域については、土砂流出防備保安林の指定もいくつかあります。また、現在丹南土木事務所および丹南農林総合事務所により砂防・治山ダム事業が推進されており、このような事業を行うにはそれぞれ砂防指定や保安林指定を行って実施しておりますので、今後ともご協力をお願いします。</p>
--	--